

遠賀川流域活動報告

九州河川協力団体連絡会議 遠賀川圏域会議を開催

国土交通省では、九州各地で河川の維持、河川環境の保全等に関する活動を行う河川協力団体の方々と協働で、地域に親しまれ、愛される「魅力あるいい川」をつくるため、九州内の7つのブロックで河川協力団体と話し合う『九州河川協力団体連絡会議 圏域会議』を行っています。

12月7日(水)、北九州市八幡西区楠橋地域交流センターで遠賀川圏域会議を開催しました。遠賀川流域の河川協力団体である「NPO 遠賀川流域住民の会」、「笹尾川水辺の楽校運営協議会」、「NPO 直方川づくりの会」、「田川ふるさと川づくり交流会」に参加いただきました。



挨拶：九州河川協力団体連絡会議 濱崎代表(左) 九州地方整備局 河川部 島本河川情報管理官(右)

第52号
平成29年1月

会議では、河川協力団体との協同の取り組み状況として、「ミズベリング(水辺で乾杯!）」、「第16回 九州「川」のワークショップin遠賀川」の紹介がありました。意見交換では、遠賀川河川事務所から「今後の河川協力団体との協働の取り組みの提案」として、子どもと河川協力団体の次世代育成を目標とした取り組みの提案と「SNS(facebook等)を利用した官民連携の情報発信」の提案があり、これらについて意見交換を行いました。

今回は、各団体から次世代を担う若手メンバーにも参加いただき、「大人の部」と「次世代の部」に分かれて意見交換を行いました。



表-1 各々の部会から出た意見

	○今後の河川協力団体との協働の取り組みの提案(案)	○SNS(facebook等)を利用した官民連携の情報発信(案)
大人の部	- 共通した目標(課題)を持つ。 - 子どもの体験活動が重要。キーワードは「探る」 - ミズベリング「水辺で乾杯」を推進していく - 出張所単位で河川協力団体がリーダーとなり、住民団体をネットワーク化する。	
次世代の部	- 今ある活動との関係、負担とならない仕組みを考えていく。 - それぞれの団体が一致できる方針、目標設定が重要である。 - それぞれの団体の得意技を活かして子どもたちを楽しませる。	- 個々の団体からの情報発信ではなく、まとまることによって多様な人に見てもらえる。 - 団体同士のつながりになる。 - 情報が集中したときに本当に見て欲しい情報が埋もれてしまう懸念がある。 - SNSを使っていない人への情報伝達については配慮が必要。



『第13回ふくおか水もり自慢！in古賀』が開催されました

12月3日(土)、「水」に関わる活動を行っている活動団体や企業、学校、行政間の「交流と連携」をテーマとした「ふくおか水もり自慢！」が古賀市生涯学習センターで開催され、県内外から42団体が一堂に会しました。

午前中は、緒方 義幸氏(福津環境リーダー)、宿理 英彦氏(緑のまちづくりの会)、島谷幸宏氏(九州大学)の基調講演が行われ、午後から各団体の活動発表が行われました。

大根川流域での活動や上西郷川、海岸線に広がる防風保安林の保全活動の発表がありました。福岡県県土整備部河川課の皆さんは『水害から自らの命を守るために災害に備えましょう』と楽しいパフォーマンスでアピールされていました。



会場の様子



子どもたちは、楽しそうに発表しました。
遠賀川流域で活動する団体も参加しました。



『献鮭祭』が行われました

12月13日(火)、嘉麻市大隈にある鮭神社で、献鮭祭が行われました。氏子や漁業関係者、流域住民の方々など、たくさんの方が参加し、神事が行われました。

本年度は、遠賀川流域で鮭が確認されていませので、慣例に従って氏子の皆さんは、鮭に見立てた大根を奉納しました。

鮭に見立てた大根が鮭塚に奉納されると、見守っていた皆さんは、一斉に写真を撮っていました。その後、漁業関係者の皆さんによって、祭られた鮭が鮭塚に奉納されました。



鮭に見立てた大根は、
氏子さんの力作です。

彦山川に巨大イルミネーションがお目見え

12月23日(金)、田川市伊田地区の彦山川で5基の巨大ツリーのイルミネーションがお目見えしました。彦山川をもっときれいに、皆で川を大切にしようと、地元企業などでつくる実行委員会の主催で、今回で6回目となりました。

23日17時に子ども達によるカウントダウンで、5台のツリーと河川敷に広がったイルミネーションが一斉に輝き、会場から歓声が上がりました。

参加者の皆さんは、主催者が用意した熱いうどんやお菓子を手にして、星空のように輝くイルミネーションや川面を見つめていました。



ため池浄化作戦が成功しました ～飯塚川づきあい交流会が成果報告～

遠賀川流域だより第48号(平成28年6月)に掲載しておりました、飯塚川づきあい交流会が取り組んでいた飯塚市にあるため池の浄化活動の成果が発表されました。

浄化作戦を行った農業用のため池は、周辺の住宅から生活排水が流れ込み、悪臭を放っていることから、水質浄化方法を検討していた飯塚川づきあい交流会は、NPO日本環境監視協会に技術協力を依頼しました。

交流会のメンバーである「NPO遠賀川流域住民の会」が、竹林を伐採して竹炭を作り、粉碎後に微生物や酵母菌などの溶液に浸し、袋詰めにしたものを4月にため池に沈めました。その結果、ヘドロから出る硫化水素濃度が、5月以降はゼロとなったそうです。



記者会見で取り組み状況を説明する
交流会の皆さん



ため池に沈めた袋詰めの竹炭

交流会の野見山会長は、「竹炭の効果を確認できた。ほかの地域での実施も考えたい」と話されていました。

ため池がきれいになることで河川にも良い効果が、少なからずあるものと思います。

『若水くみ』が行われました

平成29年元日、年の神を迎え、一年間の家族の健康と五穀豊穡を祈願する「若水くみ」が行われ、参加者は「ILOVE遠賀川 in 嘉穂実行委員会」の皆さんが準備した竹筒に源流の水を汲んでいました。

一昨年、若水くみの紹介をテレビで見て、昨年から参加している北九州市の85歳の男性は、「昨年、若水くみに来て、ご利益をいただき元気に過ごしました。また今年も元気に過ごすことができるように、若水くみに来ました。」と話していました。



昨年は道も凍っていたため大変でしたが、今年は好天氣に恵まれたことで、清々しい気持ちで若水くみを行うことができたことでしょう。



12月29日(木)、実行委員のメンバーや近所の子どもたち約30人が若水くみに使う100本の竹筒を作りました。子どもたちにも参加してもらうことで、地域の伝統的な取り組みを学び、引き継がれていくことでしょう。

遠賀川河川事務所 事業の概要

遠賀川河川事務所では、度重なる出水の被害を軽減するために、堤防の整備、河道の掘り下げ、堰の改築等を行っています。これらの事業を紹介します。

福丸地区河川改修事業（宮若市）

●浸水被害を軽減するため、犬鳴川の堤防等を整備しています。

犬鳴川沿いの宮若市福丸地区では、平成21年、22年に浸水被害が発生しました。この浸水被害を軽減するため、高さ・幅が不足している区間の堤防を整備しています。あわせて、洪水時に流水の阻害となる錦橋を架け替えています。

堤防の整備は、若宮大橋から錦橋間の左岸側を下流側から整備しており、平成27年12月までに、錦橋まであと約50mのところまで整備しました。

錦橋の架け替えは、宮若西中学校の生徒3名に、錦橋に設置する橋銘を書いて頂くなどして、平成28年11月までに完成しました。12月1日には、地元のみなさま、福丸保育園の園児らが渡り初めを行い、道路を管理する宮若市へ引き渡しました。

今後は、引き続き、堤防・護岸の整備を行うとともに、旧錦橋の撤去を行います。



(写真左) 地元のみなさま、福丸保育園の園児が、渡り初めをしました。

(写真右) 錦橋のプレートを下書きした3名には、プレートのレプリカが贈呈されました。

猪久保地区河川改修事業（直方市）

●直方市猪久保地区の浸水被害を軽減するため、福地川の堤防を整備しています。

彦山川に注ぐ福地川沿いの直方市猪久保地区では、平成21年、22年、24年に浸水被害が発生しました。当地区の浸水被害を軽減するため、福岡県と連携して堤防の高さが不足している区間を整備しています。

堤防の土は、彦山川で河川敷を掘り下げた土砂を利用するなど、工夫しながら工事を進めています。新しい堤防が完成すると、より安全に水を流すことができるようになります。



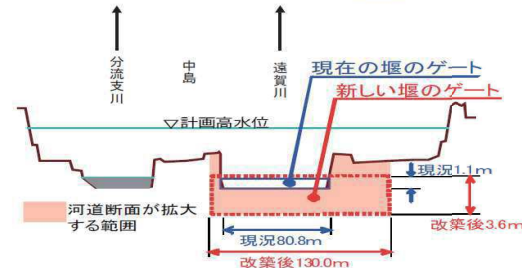
中間地区河川改修事業（中間市）

●洪水への安全度の向上を図るため、中間堰の改築事業を実施しています。

中間市役所にほど近い遠賀川に、昭和4年に設置された中間堰があります。

主に中間堰で取水された水は、平成27年に世界文化遺産に登録された遠賀川水源地ポンプ室を通り、工業用水として利用されています。

平成22年から遠賀川の洪水への安全度向上を図るための抜本的な改築工事を行っています。



※ 計画高水位：計画の洪水を下流に安全に流せる水位



締切内での工事の様子(平成29年1月撮影)

川を締め切るための鉄の板の設置が完了し、締切内でコンクリート構造物の構築を行っています。



上野地区河川改修事業（福智町）

●彦山川の洪水を安全に流せるように川の中を掘っています。

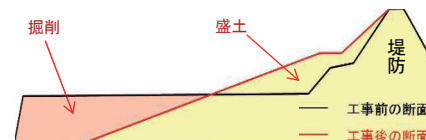
彦山川流域では、平成24年の九州北部豪雨の際に、各地で浸水被害が発生しました。このような浸水被害を軽減し、洪水を安全に流せるように、上野地区において河川内の土砂の掘削(川の土砂を取り除く工事)を実施しています。

また、今回の工事では、河川敷の利用や堤防の管理の効率化の観点から河川断面を工夫して工事を実施しています。

今年度は、赤池橋周辺で、約120,000m³(25mプールの約220杯分)の土砂の掘削を行っています。工事で発生した土砂は、他の工事に再利用するなど、有効利用を図りながら工事を進めています。



断面概略図



HOTNEWS

平成28年11月8日(火)、当現場で県立八幡工業高校2年生5人を対象に『就業体験技術実習』の一環として見学会を開催しました。

今回工事の目的等を理解していただくとともに、施工業者指導のもと、実際にブルドーザーや油圧ショベルに搭乗し、操作体験をしてもらいました。高校生からは「工事の規模や重機の多さに驚いた」「実際に重機に乗せてもらい貴重な経験だった」などの感想があり、有意義な見学会となりました。



2月中旬～3月の水辺イベント情報

※ 各イベント名の前に付いている番号は、次ページの地図に表示のイベントを示しています。

事前申込が必要なイベントがあります。また、天候により開催日が変わることがありますので、お問い合わせ先にご確認ください。



①エコスタいいづか (環境教育推進大会)

2月11日(土)

概要: 市民や団体が実践する環境保全活動の事例発表や体験、学べるワークショップなど、楽しみながら環境への関心を深められます。

会場: 飯塚第1体育館(飯塚市枝国)

問: 飯塚市環境整備課

Tel.0948-22-5500(内線1122)

②I LOVE なかま遠賀川フェス

2月11日(土)

概要: 中間市世界遺産の水源ポンプ室を中心に散策するフットパスや飲食ブース、音楽フェスなど、大人も子どもみんなが楽しめるイベントです。

会場: 中間市役所前遠賀川河川敷

問: NPO法人中間市地域活性化協議会

Tel. 093-243-3877

(月・水・金 10:00～17:00)

③香月・黒川ほたる教室

2月25日(土)

概要: 八幡西区南部地区の6小学校(池田・香月・楠橋・木屋瀬・千代・星ヶ丘)の子どもたちが、ほたるを通じて学んだ体験を発表します。

会場: 北九州市立長崎街道

木屋瀬宿記念館 こやのせ座

問: 香月・黒川ほたるを守る会

tel. 093-617-2727

④遠賀川に水辺の賑わいを つくる講演会

2月11日(土)

概要: 遠賀川に世界遺産が誕生したことを契機に、「遠賀川の活用」推進をめざし、水辺の賑わいをつくるための手法を全国各地の事例から考える講習会を開催します。

※「I LOVE なかま遠賀川フェス」との共同企画です

会場: 中間市中央公民館講堂
(中間市蓮花寺3-1-1)

問: 中間市世界遺産推進室
(地域交流センター内)

Tel.093-245-4665

⑤第22回サケの放流会

2月26日(日)

概要: 6,000匹の稚魚を遠賀町や近隣の市町村約42箇所の企業や団体、個人の飼育ボランティアの方々が育てています。どなたでも放流会に参加できます。子どもから大人までみんなで楽しく放流しましょう。

会場: 広渡小学校横の西川河川敷
(遠賀郡遠賀町広渡)

問: 遠賀町青少年育成町民会議

tel. 093-293-1234

(遠賀町役場内)

⑥第3回芦屋の里浜づくり植樹

3月11日(土)

概要: 福岡県と芦屋町は、地域の皆さんと一緒に地域の財産として将来に誇れる松林を作り育て、あわせて飛砂被害を軽減させる取り組みを行っています。

皆さんに植樹していただく最後の機会となります。ぜひ、ご参加下さい。

集合場所: 芦屋海浜公園駐車場

(遠賀郡芦屋町芦屋1455-284)

問: 福岡県 北九州県土整備事務所

河川砂防課 砂防港湾係

tel.093-691-2808

遠賀川 水辺のイベント(2月~3月)

季節の花

- 梅(2月)
- 桜(3~4月)

菜の花(3~5月)

多種

①~⑧水辺のイベント

文化施設

祭場

美術館・博物館

都道府県立自然公園

国立公園

自然(山・森)

水辺の施設

サイクリングロード

自然歩道

有料道路

民間鉄道

JR線

駅



⑥第3回芦屋の里浜づくり植樹
3月11日(土)



⑤第22回サケの放流会
2月26日(日)



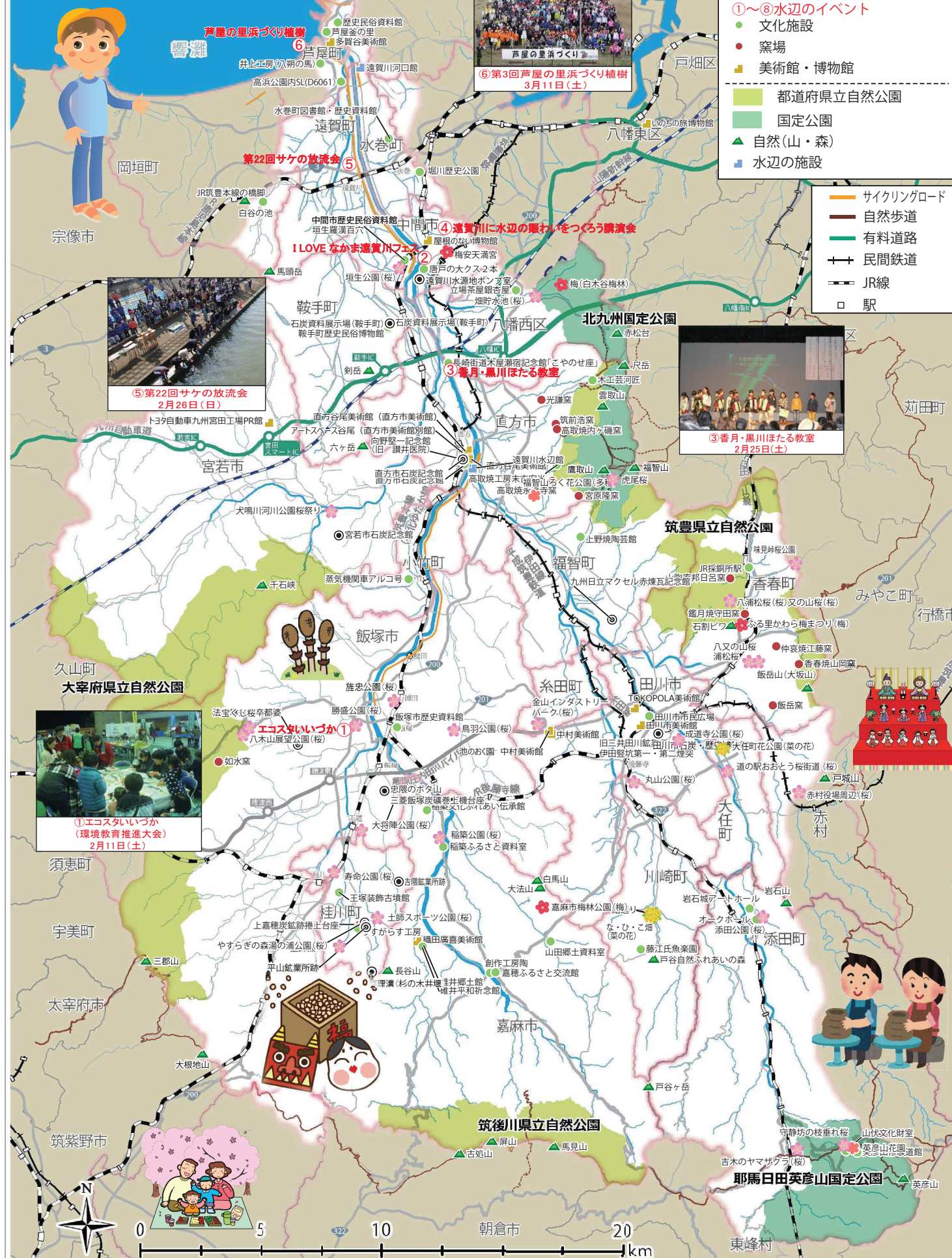
③香月・黒川はたる教室
2月25日(土)



①エコスタいづつか
(環境教育推進大会)
2月11日(土)



⑧大塚の里浜づくり植樹
3月11日(土)



遠賀川河川事務所からのお知らせ

遠賀川水系エコロジカルネットワーク再生事業を実施しています

河川と水田をつないでいる樋門、樋管の段差を解消して、魚や底生動物が河川から水田へ移動しやすい環境を確保します。また、環境学習の場として、小学生や地域で活動されている皆様が活用できるように整備します。

●遠賀川水系エコロジカルネットワーク再生事業とは？

かつて、遠賀川流域においては、河川と農業用排水路、水田との連続性(魚の移動)が確保され、河川に生息する魚類等の生育、繁殖、出水時の避難の場として、水田等が重要な役割を果たしていました。

しかし、高度経済成長期の河川の堤防整備等の治水対策に伴い、河川と排水樋管との落差(高低差)が大きくなり、魚類にとって、河川から水田への移動が困難になりました。

そこで、平成21年度から「遠賀川水系エコロジカルネットワーク再生事業」を開始し、河川と排水樋管の落差解消を行い、「生物多様性のある自然水辺空間の創出」を図ると共に、小学生や地域の皆様に環境学習の場として活用できるよう整備をしています。

「遠賀川水系エコロジカルネットワーク再生事業」のイメージ



整備後！



落差解消後！



樋門・樋管出口から水際までの**落差が大きく**、川側と田んぼ側の魚類等の移動が困難です

落差解消後、水田・農業用水路との関わりが深い動植物が、生息・生育できるようになり、**魚類等の生息・生育環境が改善**しました

●過去に直方市、小竹町の2箇所です工事が完成し、現在、3箇所目となる飯塚市で計画策定中です

再生事業は平成21年度から直方市下境地区で開始し、平成27年度までに2箇所目である小竹町御徳地区の工事が完成しました。平成28年度は御徳地区の魚類を生息するモニタリング調査を実施するとともに、新たに3箇所目となる飯塚市目尾地区の計画に着手しました。なお、再生事業の実施にあたっては、学識者に学術的な意見を伺う検討会、対象箇所の利活用や維持管理について議論する住民ワーキング、工事を実施する前の現地調査を行っています。なお、御徳地区においては、小竹町立小竹北小学校で環境学習の場として、積極的に活用されています。

③飯塚市目尾地区(H28～)

①下境地区(H21～H25)



全体計画図(直方市下境、小竹町御徳は工事完成)

検討会



住民ワーキング



現地調査



小竹北小の環境学習

遠賀川流域だより

発行 国土交通省遠賀川河川事務所
住所 直方市溝堀1丁目1-1
電話 0949-22-1830
FAX 0949-22-2859
HPアドレス <http://www.qsr.mlit.go.jp/onga/>

皆様のご意見、ご感想をお寄せください。



協力 NPO法人遠賀川流域住民の会
電話 0948-22-3535
<http://www.ongagawa.jp/>